

## 固定資産税の減免先端設備等導入計画が延長されました!

先端設備等導入計画とは、生産性向上特別措置法において措置された、中小企業・小規模事業者などが、設備投資を通して労働生産性の向上を図るための計画です。認定を受けた場合は、税制支援などの支援措置を受けることができます。今回の固定資産税特例の新しい制度では、償却資産に係る固定資産税について、生産性の向上や賃上げの促進を図ることを目的とした **2年間の特例措置** が設けられました。

- 対象者 先端設備等導入計画の認定を受けた中小事業者など ※認定経営革新等支援機関のサポートが必要
- 取得時期 **延長!!** 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで、2年間延長
- 適用要件 **New!** 年平均の投資利益率が5%以上の投資計画に記載された設備に限定 ※認定経営革新等支援機関の確認  
※現行制度は中小企業経営強化税制のA類型と同様に工業会の証明書が必要でしたが、新しい制度は投資利益率要件となり、「B類型」に近い制度です。
- 対象設備
  - ・機械装置 (160万円以上/10年以内)
  - ・測定工具及び検査工具(30万円以上5年以内)
  - ・器具備品 (30万円以上6年以内)
  - ・建物附属設備(※2)(60万円以上/14年以内) ※家屋と一体となって効用を果たすものを除く

◇変更点 → **構築物 (120万円以上) 及び、事業用家屋 (一定のもの)** は対象外  
 → 減免割合 **原則3年間:1/2、一定の賃上げ要件を満たす場合、4年間又は5年間 2/3**

固定資産税特例措置を受けるには、どうしたらいいの?

### A.①対象(条件を満たしている)かどうか、まず確認を!

②先端設備等導入計画の認定を受ける!…設備を取得する前に、先端設備等導入計画の認定を受ける必要があります。既に取得した設備を対象とする計画は認定されません。

【主要要件】 計画期間 : 3年間、4年間又は5年間

労働生産性 : 計画において、基準年度比で労働生産性が年平均3%以上向上

【必要書類】 ・先端設備等導入に係る認定申請書

・認定支援機関確認書

### ③自治体によって違うので注意!

市区町村によって、認定の対象になっていない業種や対象となる設備が異なります。また、固定資産税の軽減ができる割合、申請時の必要書類も違います。各自治体のHP等でご確認ください。

<申請までの流れ>

経営革新等支援機関と先端設備等導入計画を作成 → 市区町村へ計画書を提出

対象設備の認定には、1~2ヶ月かかります。余裕を持って、早めにご相談ください。

## 金融機関の格付は実態財務で行う

### 1.はじめに

3月決算の企業が間もなく期末を迎え、5月申告に向けて準備をしている頃かと思います。金融機関では企業から提出された決算書を基に毎年格付査定を行います。企業側からすると今後借入をする際の融資条件(金利が低くなったり、高くなったり。借入可能額等)に関わってきます。今回は金融機関が正しい格付を行うために自社で行っている実態財務の修正の裏側と、どのような基準で格付をしているかについてお話いたします。

### 2.実態財務への修正

金融機関では企業から決算書の提出を受けると、財務諸表の数値を自社のデータベースに登録します。次にBS・PLの項目を正しい格付を行うために修正します。この処理を実態財務への修正と言います。具体的にどのようなものがあるか以下説明させていただきます。

#### ① 不良債権の修正

例えば売掛金の内訳書を2期分並べて全く残高の動いていない場合は回収不能のものと見なして、資産のマイナス要素とします。

#### ② 役員貸付金、役員借入金の修正

役員借入金は帳簿上だと固定負債になりますが、中小企業では法人と個人を一体としてみるため、資本金とみなすケースが多いです。そのため、帳簿上だと債務超過となってしまう場合でも役員借入金を差し引くと実態では資産超過とみる可能性もあります。役員貸付金については会社のお金が個人に流れているのではないかとみられる可能性が高いです。また、残高が固定的になっているととても印象が悪くなります。計画的に返済をしている印象を与えるためにも、残高を減らしていくことが必要です。あまりにも金額が多額な場合は管理がずさんであることや、公私混同しているのでは？と判断されマイナス評価となります。

#### ③ 資産の評価洗替

土地や株式などの有価証券は基本的に毎年評価が変動する資産です。そのような資産は決算時点での時価評価の価額に正しく修正を行います。実態値を見誤らないようにするために行うものです。よくある例がゴルフ会員権の評価替えです。

#### ④ 減価償却費不足額の修正

当期は減価償却費を計上すると赤字になってしまうため、減価償却費を計上しないというケースもあるかと思います。しかし、別表16の記載から金融機関にはわかってしまいます。そのため、帳簿上だと黒字でも格付では修正され、格付が下がってしまう可能性はあります。

### 3.格付の4つの指標

実態財務への修正後は大きく分けて以下の4つの指標で格付を行います。

- ① 返済能力…完済する力があるか？(債務償還年数何年か？)
- ② 成長性…前年と比較してPLの項目は増加しているか？(売上高、経常利益前年対比何%増)
- ③ 安全性…短期・長期の両面において潰れない企業か？(自己資本比率、資産超過 or 債務超過)
- ④ 収益性…儲かっているか？(売上高経常利益率、赤字 or 黒字)

### 4.最後に

実態財務へ修正されることによって、融資審査や条件に大きく影響を及ぼしますので、今回ご説明した点も踏まえて、実態に即した正しい決算書を作っていきましょう！



## 『小さく分けて考える』

「悩む時間」と「無駄な頑張り」を80%減らす分解思考

菅原健一  
 SBクリエイティブ(株)  
 (2022/12)

経営者であり、企業の10倍成長のためのアドバイザーでもある筆者の思考分解術が、フローチャートや図式で分かりやすくまとめられています！

「目標売上に達成しないから、売上を2倍に伸ばしてほしい、伸ばしたい」や、「なんだか物足りない気がするので、商品のクオリティを上げてほしい」という要望に対して、営業する人数を無理に増やしたり、商品の単価を上げてみたり、商品の品質を高くするために、無謀な企画を提案したりと、目の前の課題に対して、無意識に「ひたすらに頑張ること」をしていませんか？

本書では、一見深く悩んでしまうような課題に対して、課題を細かく分解して、課題の本質を見出し、解決策を考えることができる『分解思考』について、解説しています。

仕事ができる方は、特に「解像度が高い」と言われるような人は、分解の精度が高く、だからこそ、適切な方法を選び、効率的に高い成果を出しています。

また、分解思考が出来るようになると、仕事の目標も然り、個人的な目標を達成することが可能となりますので、よい達成習慣を身につけたい方にオススメの一冊です。

### 【以下引用】

#### 上手に分解するための6つのポイント

1. **かけ算で分解する**: 数字で目標を数値化して、曖昧な基準を要素分解していく。
2. **一つ上に戻って、全体像を考える**
3. **細かく分けすぎない**

→全体でみると何%になるのかを分解した上で、効果が大きいものから手につける。

4. **アイデアを出したい時、抜け漏れをなくしたい時は「反対」をとる**
5. **あえて大きく捉える**: 企業や商品の価値を捉えなおして高めていく活動は、今後の時代に非常に重要
6. **自分の気持ちは分けておく**: 人はサンクコスト(回収できない費用)の影響で、しばしば誤った判断をしてしまう

正しく分解して最も効果の高いことをやる、効果のないものは見切りとつけて、早めにやめるクセをつけることが重要です。

・大きな目的を達成しようとするとき、何か新たなことを始めようとする会社も多いですが、なんでもかんでも新しく取り入れて頑張るのではなく、今行っていることの中から阻害する要因を取り除く。その方が無理せずうまくいくことも多いのです。

仕事を始めたばかりの若い方には、とても大切な話です。新人研修に使用しても、面白いのではないのでしょうか。良い達成習慣を身につけるためにも、是非手に取ってほしい一冊です。